



平成 28 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ピーシーデポコーポレーション  
 代 表 者 の 代表取締役社長 野 島 隆 久  
 役 職 氏 名 (コード番号 7618 東証一部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 松 尾 裕 子  
 経 営 企 画 室 長  
 T E L 0 4 5 - 4 7 2 - 9 8 3 8

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間業績予想について、平成 28 年 5 月 10 日に公表した業績予想と本日公表の第 2 四半期累計期間の実績において下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、通期の業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計連結業績予想値と実績値の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,300	百万円 2,260	百万円 2,300	百万円 1,550	円 銭 30.09
<b>実績値 (B)</b>	<b>23,847</b>	<b>2,300</b>	<b>2,357</b>	<b>1,569</b>	<b>30.46</b>
増減額 (B - A)	△1,453	40	57	19	
増減率 (%)	△5.7	1.8	2.5	1.2	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	24,540	1,678	1,724	1,111	24.38

## 2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 54,000	百万円 4,920	百万円 5,000	百万円 3,370	円 銭 65.42
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>45,500</b>	<b>2,950</b>	<b>3,000</b>	<b>1,990</b>	<b>38.63</b>
増減額 (B - A)	△8,500	△1,970	△2,000	△1,380	
増減率 (%)	△15.7	△40.0	△40.0	△40.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	51,784	4,314	4,366	2,867	59.79

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 1.2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

### 3. 差異及び修正の理由

#### (1) 第2四半期累計連結業績予想数値と実績値との差異について

第2四半期累計期間における連結売上高は、平成28年7月29日のWindows10への無償アップグレード終了に伴う駆け込み需要や、それによる8月以降の反動減がございましたが、当初計画に対しおおむね順調に推移しました。しかしながら、8月17日、25日に公表しておりますように「当社プレミアムサービスをめぐる対応（以下、『本事象』といいます。）」により、8月中旬以降、全店舗、コールセンター、並びに本社において、全社的に既存会員様のサポートを優先しております。加えて店舗、コールセンターにおいては、多くのスタッフを販売から品質管理部門に配置転換をしており、販売体制の推進低下、販売スタッフの一時的減少が発生いたしました。加えて、新聞折込広告など積極的な販売活動の自粛により、商品販売の減少、またソリューションサービスのうち、技術サポートやサービス一体型商品販売の減少により、売上高が減少しました。既存店売上高は前年比100%の計画に対し96.9%となりました。

以上のことから、第2四半期累計期間における連結売上高は、238億47百万円（計画比5.7%）となりました。

利益面においては、本事象により、店舗、コールセンターなど全社的に既存会員様のサポート優先、品質管理強化を進めたため、DM発送費や通信費など対応費用が増えました。一方、販売スタッフを品質管理スタッフに一時的な配置転換を行うなど、社内スタッフが横断的な作業連携などにより、人件費は計画並となりました。加えて、積極的な販売活動の自粛により宣伝広告費の減少、既存のPC DEPOTからピーシーデポスマートライフ店への改装並びに新規出店の延期により、改装費用等が計画を下回りました。

以上のような対策を推進しましたが、ソリューションサービス売上高が前年比118%の見込みに対し、115.1%と3.1%ポイントの減少にとどまったため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも計画を若干上回りました。

#### (2) 通期連結業績予想数値の修正について

平成29年3月期における連結売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益はいずれも平成28年8月発生の本事象の影響により、当初計画を下回る見込みとなりました。

平成28年7月29日にWindows10への無償アップグレード終了、それにより8月以降の反動減が見込まれたため、積極的な販売促進活動、当社オリジナル格安スマートフォン「JUST PRICE FON」の販売強化、ピーシーデポスマートライフ店への改装を強化し、それらの反動減に対応する計画でした。

しかしながら、本事象の発生により、先述した(1)第2四半期累計連結業績予想数値と実績値との差異についての記載のとおり、連結売上高の減少傾向は引き続き、継続するものと見込んでおります。

販売促進活動は、11月中旬頃を目処に徐々に再開する予定ではありますが、一定期間の自粛に加え、自粛影響が継続すると予想されます。それらの影響により、商品販売の減少、並びにソリューションサービス販売のうち技術サポートやサービス一体型商品の販売減により、既存店売上高の当初計画は前年比100%でしたが、それが88%、下期については前年同期比100%が79%程度と見込んでおります。プレミアムサービスの売上高は、本事象の影響からコース変更や退会による月額単価は減少するため、当初計画は下回りますが、前年を上回る見込みです。しかしながら、技術サポートやサービス一体型商品の販売減により、ソリューションサービス売上高は、前年比118%の計画に対し同98%、下期においては前年同期比121%に対し、同88%になると見込んでおります。

なお、平成29年3月期における新規出店は、4店舗の計画のうち2店舗をすでに開店し、残り2店舗の出店を延期しておりますが、出店の遅れによる売上高への影響は軽微です。

以上のことから、連結売上高は、当初計画を85億円下回る見込みです。

利益面については、売上高の減少が大きく影響し、商品粗利を中心に売上総利益が減少する見込みです。販売費及び一般管理費については、出店や改装を延期することから関連費用は計画を下回ります。しかしながら、人件費は8月の本事象の対応を継続していくことから、第2四半期累計期間の水準である当初計画並みとなるため、販売費及び一般管理費は当初計画を下回るものの、ほぼ前年並みと見込んでおります。

今期においては、既存会員様サポートの優先に加え、既存出店している地域におけるお客様のスマートデイス、インターネット、データの安全を優先し営業を進めて参ります。また、品質管理体制の強化等を推進し、信頼回復に努めてまいります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

#### 4. その他

今回の業績予想に関する経営責任を明確にするため、下記のとおり、代表取締役社長より役員報酬の自主返上の申し出がありましたので、ご報告します。

(1) 役員報酬の返上内容

代表取締役社長 月額20%を自主返上

(2) 対象期間

平成28年12月から平成29年2月まで

以上